

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈中・19〉 いわき市立内郷第三中学校	
＜実施日＞	平成 28 年 5 月 24 日 (火)	
＜実践教科等＞	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 2 学級活動 3 総合的な学習の時間 ④ その他(社会・道徳)	
＜実践内容＞	○ 3年社会科「第6章二度の世界大戦と日本、3節第二次世界大戦と日本」 ～ 4戦争の終結 ～ ○ 3年道徳「伝えたいことがある～第五福竜丸事件」4(3)	
【社会】	1. 実践にあたって ○ねらい～ドイツ・イタリアの降伏、沖縄戦から原爆投下などを通して、戦争終結の経緯を理解させる。なお、原子爆弾投下の様子については、写真やDVDなどの教材を活用し、当時の様子を想像できるようにする。 2. 学習の流れ (1) 導入～写真「一瞬にして廃墟となった広島」の写真を見て、気付いたことを発表する。 <table border="1"><tr><td>学習課題・原子爆弾が投下されることによってどのような被害にあったか。</td></tr></table> (2) 展開～「地図：広島・長崎の被害状況図」「写真：救護所の様子」「グラフ 広島・長崎の被害」「イラスト：広島原爆のしくみ」などの資料から分かることや感じたことを読み取らせる。 (3) 終末～本時のまとめをする。 1発の原子爆弾の投下によって、一般市民が合わせて20万近くも死んでいること、また、その後遺症で現在も苦しんでいる。	学習課題・原子爆弾が投下されることによってどのような被害にあったか。
学習課題・原子爆弾が投下されることによってどのような被害にあったか。		
【道徳】	○ねらい～誰に対しても公正公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度を育てる。	
＜成果＞	・原爆の内容について、時間をかけて学習することが少ないので、これまでは、いつ、どこに落とされ、どのような被害にあったか程度で学習が終わってしまうことが多かったが、今回、道徳とタイアップすることで、差別や偏見で苦しんでいるところまで考えることができ、とてもよかった。	
＜課題＞	・核軍縮の動きなど、日本や核保有国が中心となって進めていく必要性を、実感させていきたい。	
資料作成担当者職(教諭)氏名(田代 喜代美)	学校電話番号(27-7007)	

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先：kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)